

みどりの条例ニュース

島根県エネルギー自立地域推進基本条例

2014年3月10日

しまね労連(島根県労働組合総連合)

松江市母衣町55-2島根県教育2階

昨日、「福島原発事故から3年、原発ゼロの実現を！エネルギー条例制定を！3・9島根県民集会」が労働会館で開かれ、県内各地から約二五〇名が集まりました。

講演では、福島農連の佐々木健洋さんは、「このままでは終わらない」と、大切な農地を次の世代に残すこと、脱原発への対案として再生可能エネルギーの取り組みを報告されました。「フクシマを忘れない！原発なくそう！」の決意を新たに集った集会でした。採択した集会宣言は、周辺自治体の首長に送ります。

「原発ゼロを」の思いに県内から二五〇名が集結！



【3月9日 県民集会・労働会館】



【集会の最後は原発ゼロ替え歌を合唱】

県エネルギー条例審議 やり直し求める！

島根県議会総務委員会は、私たちが提出した「みどりのエネルギー条例」の制定を求める議案を、3月5日、否決しました。その根拠として、県内全域でのエネルギーの自立をめざすとすれば、現在の40倍の再生可能エネルギーの生産が必要だと過大算定し、省エネルギー対策の効果をまったく考慮していない間違った資料と説明をベースにしています。

県エネルギー問題県民連絡会は、審議をやり直すほか、県議会で研究会などを設け、エネルギー自立の課題や調査をするよう求める要請書を、県議会の五百川議長宛に提出しました。

県議会審議日程

◆3月11日 本会議で条例の可否が決定されます。みんなで傍聴しましょう!!



もうゲンバツいなないよ。